

「アートと文化が誰にも近い街」を目指し、「アートと生活」をテーマとして、芸術や文化に親しんで頂くきっかけを提供する芸術文化講座。各分野の専門家が、アートがはじめての方々にはやさしく語りかけます。2022年8月(第32回)は「写真のみかた ―現代写真を楽しむための手引き―」です。T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO (東京国際写真祭) ファウンダーの速水惟広さんと72Gallery ディレクターの鈴木雄二さんをお迎えし、作品を見ながら解説して頂きます。

< 2022年8月(第32回) >

写真のみかた ―現代写真を楽しむための手引き―

「写真」と聞いて想像するものはなんでしょうか。SNSで見かけた絶景、あるいは決定的瞬間。はたまた家族や友人と撮影した記念の1枚。広告、証明写真、監視カメラ、google streetview … あたりを見回してみると、写真はそこら中に溢れています。スマートフォンの登場により、1人1台カメラを持つ1億総カメラマンと言われた時代は、既に過去の話。今や、写真は社会のインフラそのものと化しています。写真の存在意義が変化しつつある中で、アーティストたちはどんな作品をつくり、そしてどのような作品が注目を浴びているのでしょうか? 写真の見方が変わったとき、世の中を見る目線が変わってしまう、かもしれません。

日 時： 2022年8月17日(水) 18:30～20:00

会 場： 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
「オンライン講座」としてYouTubeにて配信します。

参加料： 無料

申込方法： Peatix (<https://peatix.com/event/3276005>)

右上の**リンクボタン**(またはQRコード)よりお申し込みください。

▶ お申し込み(Peatix)



※今後の状況により、延期・中止をさせて頂く場合もございますので、あらかじめご承知置きください。

< 講師 >



速水惟広氏 (T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO (東京国際写真祭) ファウンダー)

東日本大震災の際、被災地での活動がきっかけとなり写真とアイデンティティの関係や、ソーシャル・エンゲージメントな作品について考えるようになる。2017年より美術館のような場所だけでなく誰にでも開かれた公共空間におけるフォトフェスティバルとして「T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO」を設立。過去、手掛けた主な企画展にアレハンドロ・チャスキエルベルグ「Otsuchi Future Memories」(岩手県大槌町、2016ほか)。最近の活動に世界報道写真財団のJoop Swart Masterclass Selection Committeeメンバー(2020)、Photo Vogue Festival 審査員(イタリア、2021)、Critical Mass 審査員(米国、2021)など。



鈴木雄二氏 (72Gallery ディレクター)

1973年 北海道出身。外資企業の専属フォトグラファーを8年担当。一年の半分は取材で日本全国の美術館、文化遺産や観光名所を撮影。「PHaT PHOTO」写真教室の講師を担当し11年目。現在は、TOKYO INSTITUTE of PHOTO-GRAPHYに在籍し、72Galleryのディレクターを務め、フォトフェスティバル、写真展の企画やワークショップに関わる。